○○○○議員様

2024年○月○○日

新日本婦人の会　○○支部

支部長○○○○

主食の米を増産し、安定供給することを求めます

　いま、各地のスーパーの店頭から主食の米がなくなる異常事態が生まれています。その原因について、あるテレビ番組は、農水省の「米不足はない」との言明を伝え、米流通業者の、南海トラフ地震臨時情報などから消費者のまとめ買いがあったためで秋には店頭に新米が並んで元に戻るとの話を報道しました。しかし、事はそんなに簡単ではありません。

政府は2021年産米の暴落は過剰生産が原因だとして、22年、23年と２年連続で年間20万㌧以上の減産を農民に押し付け、米の在庫（備蓄）を徹底的に減らしました。その結果、政府の「米政策」の破綻がいま、米の価格高騰と米不足をつくりだしています。

今年も、猛暑や台風・豪雨などが繰り返し米作地帯を襲い、これからも台風発生が予測されるなか、米の作況が最終的にどうなるかわかりません。すでにスーパーでは「アメリカンライス」が売られており、24年産米が不足になれば、日本政府は輸入米の枠を引き上げ、輸入アメリカ産米などの店頭販売をさらに拡大していくと思われます。

いっぽう国内の生産現場では生産費もまかなえない米価は農家の生産意欲を削ぎ、農家の高齢化も進んでいます。また生産者に「需要を考え、生産計画を立てよ」と押し付け、主食米の需給に対する国の責任を放棄しています。農家が安心して生産が続けられる米の買取価格を補償し、新規就農者が増える環境整備こそ求められます。国は自給率を向上させ、国民の命と健康を守るべきです。以下国会議員として全力を尽くしてくださるよう強く要請します。

1. 主食の米の安定供給と価格安定のため、新米に出回るのを待つのではなく、政府が責任を持って国民が主食の米を購入できるようにしてください。
2. 米「減産」政策から「増産」政策へと農政を根本的に転換してください。

１、政府備蓄米が１～２カ月分しかないと指摘されている状況は異常であり、大

幅に増やしてください。